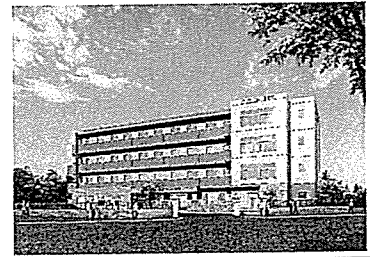


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長岡京市調子2丁目有料老人	階数	地上4F
建設地	長岡京市調子2丁目82-1(一部),87-	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	75人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年5月 予定	評価の実施日	2014年3月25日
敷地面積	1,580㎡	作成者	株式会社 新部計画
建築面積	680㎡	確認日	-
延床面積	2,432㎡	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 67%

③上記+②以外のオンサイト手法 65%

④上記+オフサイト手法 65%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	2.4
温熱環境	2.3
光・視環境	3.0
空気質環境	4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

機能性	4.2
耐用性・信頼性	3.2
対応性・更新性	3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

生物環境	2.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	3.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物の熱負荷	3.5
自然エネルギー	4.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源保護	2.4
非再生材料の使用削減	2.4
汚染物質回避	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化への配慮	4.4
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.2

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋根・外壁部に断熱材を施工し、外皮性能を高めている 昼光率を確保、個室ではベッド単位の細かな照明制御・部分照明を可能とし、光・視環境を良好に保っている 全館禁煙とし、空気室環境を良好に保っている 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 個室では10m²/床以上の広さを確保し、明確な内装計画を行い、機能性・使いやすさに配慮している 外装材、空調・給排水配管には補修・更新必要間隔の長い材料を使用し、耐用性・信頼性を高めている
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の断熱を適切に配し外壁や窓を通しての負荷に配慮している 自然エネルギーの変換利用として太陽光発電を採用している LED照明を採用し、省エネルギー性能を高めている 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 節水型便器や自動水栓を積極的に採用し、水資源保護に努めている LGS+石膏ボードにより、躯体と仕上材の分別を容易にし、PS・天井内配管により設備との錯綜を回避させ、部材の再利用性を高めている
<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 植栽により、良好な景観を形成している レストラン・デイサービススペースを一般開放・提供し、夜間照明の設置により、地域へ配慮し、快適性を高めている 	
<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋外にゴミ庫を確保し、各階にゴミの分別回収ボックスを設置し、廃棄物処理負荷の抑制に努めている 光害対策の過半を満たし、広告物照明を設けないことにより、光害を抑制している 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCO₂の算定条件等については、「LCO₂算定条件シート」を参照されたい